

時代	西暦(和暦)	直方周辺の出来事	直方の遺跡	日本の出来事	日本の遺跡・文化財
縄文時代 (紀元前1万2千年頃～紀元前500年頃)	紀元前8000年頃	屈葬(くつそう)による埋葬が行われる	感田野浜・湯ノ浦遺跡	狩りや漁をしてくらす	
	紀元前7000年頃	縄文海進(かいしん)(植木のあたりまで海になる)	天神橋貝塚	今の日本列島の形ができる	加賀貝塚のムラができる(千葉県)
弥生時代 (紀元前500年頃～紀元後250年頃)	紀元前3000年頃		片山遺跡	稲作が朝鮮半島から伝わる、集団で定住するようになる	三内丸山遺跡ができる(青森県)
	紀元前500年頃	遠賀川式土器がつくられ、全国へひろがっていく		青銅器をお墓に副葬するようになる	板付遺跡(福岡県)
	紀元前200年頃	立屋敷(たてやしき)遺跡(水巻町)ができる	下境向峯(むかいみね)遺跡 感田上原(うわばる)遺跡		登呂遺跡ができる(静岡県) 吉野ヶ里遺跡(佐賀県)
	紀元0年頃	帯田遺跡にヒスイを副葬する有力者が葬られる	感田野浜・西遺跡 屋敷遺跡 帯田遺跡・辻の上(つじのうえ)遺跡 平原(ひらばる)池ノ上遺跡		
古墳時代 (250年頃～600年頃)	200年代	立岩遺跡(飯塚市)有力者の豊棺墓(かめかんぼ)が造られる	西光寺(さいこうじ)遺跡	埴野横遺跡	小笠原が各地にできる
	300～400年代				
	350年頃	惣用(そうよう)古墳群が築造される	惣用遺跡(古墳)	古墳が各地につくられる	森将軍古墳(長野県)
	400年中頃	古墳の副葬品に武器や馬具等がつかわれる		大和朝廷(大和王権)が日本を統一し始める	稲荷山(いなりやま)古墳(埼玉県) 大仙(仁徳陵)古墳(大阪府)
	500年代	【国】王塚古墳(桂川町)が築造される		漢字などが大陸から伝わる	
飛鳥時代 (600年頃～710年頃)	538年頃	【国】王塚古墳(桂川町)が築造される	水ヶ谷遺跡	辻の上遺跡	漢字などが大陸から伝わる
	550年頃	遠賀川流域で横穴墓が盛んにつくられる	小野牟田横穴墓群		蘇我氏の勢力が強まる
	604年		水町遺跡横穴墓群	水ヶ谷遺跡	
	607年				聖徳太子の時代
奈良時代 (710年頃～794年)	630年				十七条の憲法が定められる
	645年(大化元年)				小野妹子が隋に派遣される
	670年頃	鹿毛馬(かけのうま)神籠石(飯塚市)が築造される	上境前屋敷遺跡		第1回の遣唐使が送られる
	672年頃	釈教順(しゃくきょうじゆん)が福智山を修験道(しゅげんどう)として開くと伝えられる。			大化の改新の詔がくだる
平安時代 (794年～1185年)	710年(和銅3年)				平城京に都が移る(奈良県)
	720年(養老4年)		上境前屋敷遺跡		「古事記」「風土記」ができる
	752年(天平勝宝4年)	天台寺慶寺(田川市)	広江窯跡	羽高(はたか)遺跡	東大寺の大仏の開眼式(完成式)が行われる
鎌倉時代 (1185年～1333年)	794年(延暦13年)	下遺跡群(宮若市)			京都・平安京に都が移る
	894年(寛平6年)	【国】長谷寺の木造十一面観音像(鞍手町)がつくられる	上境前屋敷遺跡		遣唐使が中止される
	900年代				かな文字の使用が広まる、日本風の文化が育つ
	1016年(長和5年)				「枕草子」「源氏物語」ができる
	1048(永承元年)	長谷川兵部卿吉武(はせがわひょうぶきょうよしだけ)、鷹取山に築城と伝わる	水ヶ谷遺跡		藤原道長が摂政になる(実権をにぎり、藤原氏がはなやかな暮らしをする)
	1053(天喜元年)				武士が力を持ち始める
	1070年(延久2年)	【県】石柱梵字曼荼羅碑(せきちゆうぼんじまんだらひ)が建立される			
	1100年代	【県】滑石製経筒(かっせきせいきょうづつ)埋蔵される	帯田遺跡(中世墓)		九州で盛んに経塚がつくられる
	1110年(天永元年)	源平合戦により、弼田荘没官(もっかん)され北条政子領となる	弼田荘(かゆたのしょう)が成立する		
	1115年(永久2年)		永満寺経塚(えいまんじきょうづか)に経筒が埋納される	永満寺経塚	
南北朝・室町時代 (1333年～)	1157年(保元2年)				平清盛が太政大臣となる
	1167年(仁安2年)				
	1185(文治元年)				源頼朝が征夷大将軍に任命される
	1200年代	惣用遺跡に中世墓がつくられる	惣用遺跡(中世墓)		
	1221年(承久3年)				承久の乱が起こる
	1224年頃(元仁元年)	北条政子、弼田荘を高野山金剛三昧院(こんごうさんまいいん)に寄進する	光福寺遺跡	植木平(たいら)遺跡	
	1251年(徳治2年)	このころ堺郷(さかいのこう)、弼田荘の中心地として栄える	下境向峯遺跡	下境宮口遺跡	
1274(文永11年)		下境餅米(もちごめ)遺跡	屋敷遺跡	元軍が攻めてくる(文永の役)	
1281(弘安4年)	このころ弼田荘の収入を異国(元)警固の費用にあてる	頼野和田遺跡		再び元が攻めてくる(弘安の役)	
戦国・安土桃山時代 (～1603年)	1333年(元弘3年)				鎌倉幕府が滅びる
	1334年(建武元年)	【県】木造十一面観音坐像再興される			
	1336年(建武3年)	【県】建武の板碑が建立される			
	1338年(延元3年)				
	1397年(応永4年)	この頃、【県】空也上人像がつくられる			
	1404年(応永11年)				中国との貿易(勘合貿易)が始まる
	1467年(応仁元年)		上頼野宮ノ前遺跡		応仁の乱が起こる
	1489年(延徳元年)				
江戸時代 (1603年～1868年)	1506年(永正3年)	【市】八幡神社に東光寺から洪鐘(こうしょう)を移す。	上頼野宮ノ前遺跡		
	1542年(天文11年)	鷹取城が大友氏により落城と伝わる	須崎町公園遺跡		
	1543年(天文12年)				
	1549年(天文18年)				鉄砲が伝わる
	1573年(天正元年)				キリスト教が伝わる
	1582年(天正10年)				織田信長が室町幕府を滅ぼす
	1590年(天正18年)				本能寺の変が起こる、羽柴(豊臣)秀吉が検地を始める
	1592年(文禄元年)				豊臣秀吉が全国統一する
	1597年(慶長2年)				秀吉が朝鮮に攻め込む(文禄の役)
	1600年(慶長5年)	黒田長政筑前入国			再び朝鮮に攻め込む(慶長の役)
江戸時代 (1603年～1868年)	1601年(慶長6年)	母里太兵衛が鷹取城主となり、修築工事が行われる。	鷹取城跡		関ヶ原の戦い
	1603(慶長8年)				
	1606年(慶長11年)頃	鷹取城主手塚水雪となる、この頃【市】永満寺宅間窯開窯か?	永満寺宅間窯跡		徳川家康が江戸に幕府を開く
	1614年(慶長19年)	内ヶ磯(うちがそ)窯開窯	内ヶ磯窯跡		
	1615年(元和元年)	一国一城令により鷹取城廃城			豊臣氏が滅びる(大阪夏の陣)、古田織部切腹
	1623(元和9年)	黒田長政死去、四男高政に鷹取を与える遺言を残す	須崎町公園遺跡		武家諸法度が定められる
	1626年(寛永3年)	東蓮寺町割り(現在の古町)ができる			
	1630年(寛永7年)	白旗山窯(飯塚市)開窯	園徳寺遺跡		小堀遠州活躍
	1635(元和21年)				
	1637年(寛永14年)				参勤交代が制度化される
	1638年(寛永15年)	東蓮寺藩、島原の乱に出兵			島原・天草の一揆がおこる
	1639年(寛永16年)	初代藩主黒田高政、死去			領国が完成する

	1640年(寛永17年)	黒田之勝、東蓮寺藩第2代藩主となる				
	1663年(寛文3年)	第2代藩主黒田之勝死去				
	1665年(寛文5年)	黒田長寛、東蓮寺藩第3代藩主となる		關牟田(いむた)遺跡		
	1675年(延宝3年)	このころ鼓黨(東峰村)開黨				大川内鍋島斎跡(佐賀県)
	1677年(延宝5年)	東蓮寺の名を直方に改める		多賀町公園遺跡		
	1688年(元禄元年)	黒田長清、直方藩第4代藩主となる		感田野添西遺跡(近世墓)	町人の力が強くなり、町人文化が育つ	江戸遺跡群(東京都・江戸時代全般)
	1692年(元禄5年)	妙見山(みょうけんやま)(現御館山(おたてやま))に藩主館を新築			国学・蘭学がさかんになる	
	1707年頃	1万石加増(5万石)となり、城下町を南側に拡張		雲心寺墓地遺跡	百姓一揆や打ちこわしが多くなる	
	1720年(享保5年)	【県】多賀神社神幸行事始まる		山ノ手遺跡	寺子屋が広まる	
	1725年(享保10年)	このころ(市)藩主館の門を西徳寺に移築か?		園徳寺遺跡		
	1736年(元文元年)	町年寄庄野仁右衛門、長崎街道の古町通過を願い出る		殿町遺跡		
	1743年(寛保三年)	藩の許可を得て長崎街道を古町を通るルートに変更する		津田町遺跡		
	1772年(安永元年)	【県】清石製経筒が掘り出される				
	1853年(嘉永6年)	岡森井堰が完成する			ペリーが浦賀にくる	
	1854年(安政元年)				日米和親条約を結ぶ	
	1858年(安政5年)				各国と不平等な条約を結ぶ	萩反射炉(山口県)
	1866年(慶応2年)				薩摩と長州が、幕府を倒すために手を結ぶ	
	1867年(慶応3年)				大政奉還が行われる	
明治時代 (1868年～1912年)	1868(明治元年)				王政復古の大号令発令	
	1869年(明治2年)	【市】筑前植木岡分派(おかぶながれ)大名行列再現される			鉱山解放令布告され誰でも石炭採掘が可能に、首都が東京に移される	
	1871(明治4年)	福岡～木屋瀬～黒崎まで電柱が建つ			藩を廃止して県を置く、岩倉使節団が欧米諸国の視察に出発する	
	1872(明治5年)	和泉要助開発の人力車流行する	上境小学校(現福地小学校)設置(児童数34人)		学校の制度を定める	新橋停車場跡(東京都)、旧富岡製糸場(群馬県・世界文化遺産)
	1873年(明治6年)	筑前竹槍一揆が起こる、上新入村、下新入村、知古村に小学校設立(現新入小学校)	下境村に学舎を設ける(現下境小学校)		徴兵制が出される、税の改革(地租改正)がはじまる	
	1874年(明治7年)	感田小学校設立、頓野村、上頓野村に頓野小学校(現上頓野小学校)設立(児童数83人)	植木村に公立下等小学校(現植木小学校)設立			大浦天主堂(長崎県)
	1875年(明治8年)	田川郡糸田村炭坑で蒸気汽缶(じょうききかん)巻上ポンプを採用し失敗	公立下等小学校(現直方南小学校)設立			
	1876年(明治9年)	貝島太助ら6人で、長崎より二千九百円で蒸気機関を購入し、直方炭坑に据付けたが失敗				
	1877年(明治10年)				廃刀令が公布される	
	1879年(明治12年)	加藤正吉、下境に鉄工所を開く(直方鉄工業の初め)			西南戦争がおこる	
	1880年(明治13年)	若松商會が設立される。麻生太吉が銚田炭坑を開く			自由民権運動が盛んになる	
	1881(明治14年)	杉山徳三郎、目尾(しゃかのお)炭鉱にてスペシャルポンプによる排水に成功				
	1882年(明治15年)	許斐鷹介が下境に本洞炭鉱を開く			板垣退助たちが政党をつくる	
	1885年(明治18年)	筑前国豊前国五郡石炭鉱業組合を結成し、直方に組合取締所を置くことを議決			伊藤博文が最初の内閣総理大臣になる	
	1886年(明治19年)	若松港に「筑豊五郡ひらた業組合」を設立			ノルマントン号事件がおこる	
	1887年(明治20年)	筑豊興業鉄道会社が直方に設立、植木村杉山炭坑開坑	福地村中泉簡易小学校(現中泉小学校)設立			
	1889年(明治22年)	市町村制が施行され、直方町、福地村、下境村、新入村、植木村、頓野村ができる			大日本帝国憲法が発布される	
	1890年(明治23年)	三菱炭鉱事務所を直方町に設置、九州の各炭坑を統括			第一回帝国議会在開かれる	
	1891年(明治24年)	筑豊興業鉄道、若松-直方間開通			軽工業が発達する	
	1894年(明治27年)	筑豊興業鉄道が筑豊鉄道に改称、直方-筑前植木間開通			日清戦争がおこる	
	1895年(明治28年)	炭坑を背景に鉄工業が発達、直方町も発展する			清と講和条約を結ぶ	
	1897年(明治30年)	筑豊鉄道・九州鉄道が合併				日本銀行本店本館(東京都)
	1898年(明治31年)	貝島炭業が設立、日若産ができる				
	1901年(明治34年)	八幡製鉄所東田1号高炉操業開始				
	1904年(明治37年)	筑豊石炭鉱業組合月報創刊			日露戦争がおこる	
	1908年(明治41年)	直方電気株式会社が事業開始し、直方の街に初めて電灯がつく			重工業がしたいに発達する	三池炭坑万田坑跡(熊本県・世界文化遺産)
	1910年(明治43年)	【市】旧筑豊石炭鉱業組合直方会議所(現石炭記念館本館)完成				日本橋(東京都)
	1912年(明治45年)	旧筑豊石炭鉱業組合直方会議所敷地内に長さ11mの木造教護練習坑道が完成する。				旧松本家住宅(福岡県)
大正時代 (1912年～1988年)	1914年(大正3年)	直方町立直方北小学校創立(児童数573人)			第一次世界大戦に参戦する	門司港駅本屋(福岡県)
	1916年(大正5年)	直方・福丸間の鞍手軌道(きどう)が全線開通				原爆ドーム(広島県)
	1917年(大正6年)	筑豊石炭鉱業組合、筑豊鉱山学校の設立を決議			欧州大戦により鉄工所の数が増える	
	1918年(大正7年)	直方町に寿産ができる			「米そどう」がおこる	
	1920年(大正9年)	旧筑豊石炭鉱業組合直方会議所敷地内に煉瓦(れんが)造りの救護練習模擬坑道が完成	戦後の不況により直方の鉄工所の生産が減少する		政党内閣ができる	国際連盟に加入する
	1923年(大正12年)				関東大震災がおこる	
	1924年(大正13年)	直方飛行場が完成し、5ヶ年の使用許可が下りる				
	1925年(大正14年)	直方町立公会堂が新設される				
	1926年(大正15年)	直方町、新入村、頓野村、下境村、福地村の合併により新直方町ができる			社会を変革する運動を取り締まる法律ができる	男子普通選挙の制度が定められる
昭和時代 (1926年～1988年)	1928年(昭和3年)	直方町立図書館開館				
	1930年(昭和5年)	直方町上水道工事完成する			世の中が不景気(昭和恐慌)になり、失業者が増える	
	1931年(昭和6年)	直方町から県下9番目の市、「直方市」となる			満州事変がおこる	軍人の力が強くなる
	1933年(昭和8年)				国際連盟から脱退する	
	1934年(昭和9年)	筑豊石炭鉱業組合が筑豊石炭鉱業会に改称				
	1936年(昭和11年)	市役所裏河川敷にて納涼花火大会を開催する			二・二六事件が起こる	旧筑後川橋梁(福岡県、佐賀県)
	1937年(昭和12年)	天神橋完成	帝国火工品製造会社植木工場設立	この頃の遺跡中原田遺跡	日中戦争がおこる	
	1938年(昭和13年)	各小学校で防空展覧会を開く	鉱業地帯で人口増加			
	1939年(昭和14年)	九州日満鉱業技術員養成所創立(現直方第三中学校敷地)			第二次世界大戦がはじまる	この頃、言論・思想の取り締まりが厳しくなる
	1941年(昭和16年)	堀三太郎、新町の邸宅を直方市に寄贈	筑豊石炭鉱業会、筑豊探炭組合解散		太平洋戦争がおこる	
	1944年(昭和19年)	直方市農業会設立			北九州が初めて空襲を受ける	旧志免鉱業所整坑槽(福岡県)
	1945年(昭和20年)	直方市第一次、第二次疎開が実施される	市役所に警防課を新設		広島、長崎に原爆が落とされる	
	1946年(昭和21年)	直方機関区防衛のために山部に高射砲陣地を構築			女性の参政権が認められる	ポツダム宣言を受け入れる
	1947年(昭和22年)	筑豊鉱山学校、元九州日満工業学校と合併			日本国憲法が公布される	日本の民主主義化が進む
	1948年(昭和23年)	直方第一、第二、第三中学校ができる			教育基本法が公布される	
	1948年(昭和23年)	植木町に植木中学校設立	直方豊学校開校		母子健康手帳が交付開始される	
	1949年(昭和24年)	直方市立山部小学校(現直方西小学校)設立	直方花火大会復活		湯川秀樹がノーベル物理学賞を受賞	初めての成人の日
	1950年(昭和25年)	直方市中央公民館設置(現直方歳時館)			朝鮮戦争がおこり、警察予備隊がつくられる	文化財保護法が公布される
	1951年(昭和26年)				サンフランシスコで平和条約を結ぶ	日米安全保障条約を結ぶ
	1952年(昭和27年)	九州炭鉱教護隊連盟設立、練習坑道を九州炭鉱教護隊連盟直方教護練習所に改称			日本が独立を回復する	
	1953年(昭和28年)	遠賀川の大水害が起こる			紅白歌合戦を初の公開放送	
	1955年(昭和30年)	植木町が直方市と合併する			家庭電化時代が始まる	
	1956年(昭和31年)	直方地区炭鉱の閉山相次ぐ			ソ連と国交を回復し、国際連合に加盟する	
	1957年(昭和32年)	古町にアーケードが完成				

	1958年(昭和33年)	明治町にアーケードが完成	筑豊電気鉄道株式会社、木屋瀬～筑豊直方間開通			
	1963年(昭和38年)	殿町、須崎町にアーケードが完成	直方から炭鉱が姿を消す			
	1964年(昭和39年)	聖火リレーが直方を通過する			東海道新幹線が開通する	オリンピック東京大会が開かれる
	1968年(昭和43年)	直方市民会館完成			郵便番号制度実施	
	1971年(昭和46年)	石炭記念館完成				
	1972年(昭和47年)				冬季オリンピック札幌大会が開かれる	沖縄が日本に復帰する
	1976年(昭和51年)	宮若市大之浦露天掘炭鉱の閉鎖により筑豊炭田から炭鉱がなくなる				
	1981年(昭和56年)	直方東小学校設立				
平成時代	1993年(平成5年)				法隆寺や姫路城が日本ではじめて世界文化遺産に登録される	
	1994年(平成6年)				日本が子どもの権利条約を承認する	
	1995年(平成7年)				阪神・淡路大震災がおこる	
	1998年(平成10年)				冬季オリンピック長野大会が開かれる	
	2011年(平成23年)				東日本大震災がおこる	
	2012年(平成24年)					鹿島神崎(たかしまこうざき)遺跡、海底遺跡として初の国史跡に指定
	2031年	直方市市制100周年				

凡例…【国】国指定文化財 【県】県指定文化財 【市】市指定文化財